

教師が「評言」を「自己内対話」しないと磨かれない



〇〇さん、分かりやすい説明をしてくれたね。ところで、〇〇さんの言っていたのって、どういう意味？近くの人と話し合ってみようか。



大森先生の授業に、子どもたちは夢中。ある子が、分かりやすい説明をしました。私は「分かりやすいね」と認めて、次に進んでしまいがちです。でも大森先生は他の子たちの反応を見ながら、「どういう意味？」と全体に問われました。先生が再度説明するのでもなく。匠ですね。「分かりやすい説明」と認めた上で、「どういう意味？」と問われることで他人事として聞いていた子たちも、「えっ!？」と「自己内対話」が促されていました。まさに、本年度南小が研究しようとしている「『自己内対話』を促す『評言』」の具体像です。

「素敵だね」と認めるのも、「評言」。大森先生のように、一度子どもたちを立ち止まらせるのも「評言」。では、何でも「評言」になるのでは??行き当たりばったりうまくいった言葉ではなく、やはりそこには教師の意図があってこそ再現性も高まり、磨かれていくものだと思います。では、「どんな『評言』があるの?具体を知りたい」と私と同じように感じられた方もいると思うので、私なりに整理してみました。これを案に、一年かけてみんなで「評言の言葉集」みたいなものがまとめられたらいいですね。自分がどんな言葉(評言)を使っているか、意識的にふりかえり、使っていくことが大切ですね。

種類	教師の評言例
補足	〇〇さんの言った◇◇という言葉、とてもいいなあ。ところで、◇◇ってどういう意味?説明してくれる?
補充	〇〇さん、途中で言えなくなっちゃったんだけど、〇〇さんの気持ちになって続き言える?
類似	〇〇さんの言った◇◇という考え、とてもいいなあ。考えは似ているけど、説明や理由が違う人いる?
価値	〇〇さんの意見、大切なことを教えてくれていると思うけど、どう思った?
再話	〇〇さんの意見、すごくいい意見だなあ。あまりに素晴らしいから、もう一回繰り返して言える?
例示	〇〇さんが言ったことって、例えばどんなことかなあ?
まとめ	〇〇さんの意見、すばらしいなあ。つまりは、どういうことか短く言えるかなあ?
課題化	〇〇さん、すごく面白いことっているねえ。この意見に対して、みんなは賛成?反対?
共感	〇〇さんと、同じ気持ちになって悩んでくれる人いないかなあ。
反論	〇〇さんの意見は◇◇という点で考えると間違っているように思えるんだけど、〇〇さんを応援できる人はいないかなあ?
明確化	〇〇さんの意見、よかったねえ。さらに分かりやすくするために、〇〇さんに質問したい人いる?
経験	〇〇さんと同じ経験がある人、いるかなあ?